

社会資本総合整備計画 社会資本整備総合交付金

平成31年03月20日

計画の名称	桜井駅周辺の都市機能強化による、多世代がにぎわう利便性の高い中心市街地の形成													
計画の期間	平成 2 8 年度 ~ 平成 3 0 年度 (3年間)											重点配分対象の該当	○	
交付対象	桜井市													
計画の目標	桜井市においては昭和 3 0 年代から安定して人口が増えてきたが、平成 1 2 年以降は減少傾向である。郊外幹線道路の開通以降は開発行為も幹線道路周辺に多くなり、都市の求心力は低下している。 桜井市の中心市街地は「第 5 次桜井市総合計画」において「多世代居住戦略拠点」「観光・産業連携拠点」として位置付けられ、多世代が暮らしやすく、観光を軸に地域産業の活性化を図る拠点地区となっている。 本計画では中心市街地に存在する利用度の低い公共施設や空き家の再整備によって都市機能の集約、強化を図り、利便性向上、交流促進による都市の魅力向上を目指す。													
全体事業費（百万円）	合計（ A + B + C + D ）		603	A	553	B	0	C	50	D	0	効果促進事業費の割合 C / （ A + B + C + D ）	8.29	%

番号	計画の成果目標（定量的指標）			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値	中間目標値	最終目標値
		（H28当初）		（H30末）
1	中心市街地の公共施設利用者数を2,425人／年（H26）から36,730人／年（H30）に増加 エルト桜井2階まほろばセンターの利用者数を測定する。	2425人／年	人／年	36730人／年
2	公共交通の利用者数を220人／日（H25）から300人／日（H30）に増加 桜井駅を起点とするバスの利用者数を調査する。	220人／日	人／日	300人／日

備考等	個別施設計画を含む	-	国土強靱化を含む	-	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-

A 基幹事業																				
基幹事業（大）	番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	種別 1	種別 2	要素となる事業名 （事業箇所）	事業内容 （延長・面積等）	市区町村名 / 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	費用 便益比	個別施設計画 策定状況	
		一体的に実施することにより期待される効果																		
		備考																		
都市再生整備計画事業	A10-001	都市再生	一般	桜井市	直接	桜井市	-	-	都市再生整備計画事業	26.2ha	桜井市	■	■	■			553		-	
											小計						553			
											合計						553			

C 効果促進事業																			
基幹事業（大）	番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	種別 1	種別 2	要素となる事業名 （事業箇所）	事業内容 （延長・面積等）	市区町村名 / 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
		一体的に実施することにより期待される効果																	
		備考																	
都市再生整備計画事業	C10-001	都市再生	一般	桜井市	直接	桜井市	-	-	駅前周辺商業ニーズ調査事業	駅周辺の商店等についてのニーズ調査	桜井市	■	■				40	-	
		民間商業店舗に対するニーズを把握することにより、公共施設との相乗効果を図る																	
	C10-002	都市再生	一般	桜井市	直接	桜井市	-	-	民間投資の誘導に向けた施策検討事業	民間投資を誘導する施策を検討	桜井市	■					10	-	
		公共施設の整備と一体となって中心市街地への民間投資と促し、官民一体で活性化を図る																	
											小計						50		
											合計						50		

交付金の執行状況

(単位：百万円)

	H28	H29			
配分額 (a)	23	12			
計画別流用増 減額 (b)	0	0			
交付額 (c=a+b)	23	12			
前年度からの繰越額 (d)	0	7			
支払済額 (e)	16	19			
翌年度繰越額 (f)	7	0			
うち未契約繰越額(g)	0	0			
不用額 (h = c+d-e-f)	0	0			
未契約繰越率+不用率 (i = (g+h)/(c+d))%	0	0			
未契約繰越率+不用率が10%を超えている場合その理由					

事前評価チェックシート

計画の名称： 桜井駅周辺の都市機能強化による、多世代がにぎわう利便性の高い中心市街地の形成

事前評価	チェック欄
I. 目標の妥当性 都市再生基本方針との適合等	
I. 目標の妥当性 1) まちづくりの目標が都市再生基本方針と適合している。	○
I. 目標の妥当性 2) 上位計画等と整合性が確保されている。	○
I. 目標の妥当性 地域の課題への対応	
I. 目標の妥当性 1) 地域の課題を踏まえてまちづくりの目標が設定されている。	○
I. 目標の妥当性 2) まちづくりの必要性という観点から地区の位置づけが高い。	○
II. 計画の効果・効率性 目標と事業内容の整合性等	
II. 計画の効果・効率性 1) 目標と指標・数値目標の整合性が確保されている。	○
II. 計画の効果・効率性 2) 指標・数値目標と事業内容の整合性が確保されている。	○
II. 計画の効果・効率性 3) 目標及び事業内容と計画区域との整合性が確保されている。	○
II. 計画の効果・効率性 4) 指標・数値目標が市民にとって分かりやすいものとなっている。	○
II. 計画の効果・効率性 5) 地域資源の活用はハードとソフトの連携等を図る計画である。	○
II. 計画の効果・効率性 事業の効果	
II. 計画の効果・効率性 1) 十分な事業効果が確認されている。	○
II. 計画の効果・効率性 2) 事業連携等による相乗効果・波及効果が得られるものとなっている。	○

[illegible]

(様式3) 参考図面 (社会資本整備総合交付金)

計画の名称	桜井駅周辺の都市機能強化による、多世代がにぎわう利便性の高い中心市街地の形成		
計画の期間	平成28年度 ～ 平成30年度 (3年間)	交付対象	桜井市

